

会 議 記 録

会 議 名		杉並区病児保育予約システム導入及び運用保守業務受託者候補者選定会議（第1回）
日 時		令和7年6月25日(水)13時30分から15時15分まで
場 所		第7会議室（杉並区役所西棟6階）
出 席 者	委 員 名	杉並区子ども家庭部長：松沢 智 杉並区政策経営部デジタル戦略担当課長：眞鍋 稔晴 杉並区杉並保健所健康推進課長：山田 恵理子 杉並区子ども家庭部管理課長：倉島 恭一 杉並区子ども家庭部地域子育て支援課長：門倉 友恵
	事 務 局 職 員	子ども家庭部保育施設担当課長：森田 龍一 子ども家庭部保育課保育支援係長：榊原 恭子 子ども家庭部保育課保育支援係主査：野中 瞳 子ども家庭部保育課保育支援係：平松 由佳 子ども家庭部保育課保育支援係：小川 桃子
配 布 資 料		・次第 ・【資料1】選定会議委員名簿 ・【資料2】本選定会議について ・【資料3】実施スケジュール（案） ・【資料4】実施要領（案） ・【資料5】様式集（案） ・【資料6】業務内容説明書 ・【資料7】個人情報に係る特記仕様書 ・【資料8】第二次審査の実施について（案） ・【資料9】評価基準（案） ・【資料10】第一次評価表（案） ・【資料11】第二次評価表（案） ・【資料12】利害関係確認チェックシート
会 議 次 第		1 開会挨拶 2 委員紹介、選定会議の概要、会長の指名及び職務代理者の選任 3 スケジュールについて 4 実施要領（案）について 5 評価基準（案）について 6 その他

会議の結果及び主要な発言	1 開会挨拶 子ども家庭部保育施設担当課長より開会挨拶を行った。 2 委員紹介、選定会議の概要、会長の指名及び職務代理者の選任 資料1により委員の紹介を行った。 資料2により選定会議の概要、設置について説明を行った。 選定会議設置要領により会長は子ども家庭部長に、会長の指名により職務代理者は子ども家庭部管理課長となった。 3 議事 事務局から実施スケジュール（案）、実施要領（案）及び評価基準（案）について説明を行った。 ○質疑応答 ・システム構築期間について、契約締結が令和7年10月上旬、システム稼働が令和8年2月の予定とあるが、事業者が対応可能であることを確認しているのか、という質問があり、事務局から対応可能であることの確認を行っていると回答した。 ・評価基準（案）について、事業者が構築するシステムが機能要件適合表を満たしていればよいのかとの質問があり、事務局から標準機能で機能要件を満たしていれば高評価となると回答した。 ・評価基準（案）の係数について、加算の考え方を伺うとの質問があり、事務局から病児保育事業の特性を考慮する項目は係数を増やしたと回答した。 ○主な意見 ・企画提案書概要版の記載項目について、項目を絞った方がよいとの意見があった。また、事業者ごとの特徴が出るような項目があってもよいとの意見があった。 ・社会的責任に対する評価基準の主な評価の内容には、客観的に評価しやすい内容を記載すべきとの意見があった。 ・評価基準の構成や配点について、配点のバランスや重視すべき項目等への意見があった。 各委員からの意見、質疑を踏まえて、実施要領（案）及び評価基準（案）の評価項目・係数について修正し、会長及び全委員の確認と了承を経て、実施要領及び評価基準を決定することについて選定委員全員の了承を得た。 4 その他 次回の開催について説明を行った。 第2回選定会議：令和7年8月8日（金）（第一次審査（書類審査））
--------------	---

会 議 名		杉並区病児保育予約システム導入及び運用保守業務受託者候補者選定会議（第2回）
日 時		令和7年8月8日(水)
場 所		委員執務室
出席者	委 員 名	杉並区子ども家庭部長：松沢 智 杉並区政策経営部デジタル戦略担当課長：眞鍋 稔晴 杉並区杉並保健所健康推進課長：山田 恵理子 杉並区子ども家庭部管理課長：倉島 恭一 杉並区子ども家庭部地域子育て支援課長：門倉 友恵
	事務局職員	子ども家庭部保育施設担当課長：森田 龍一 子ども家庭部保育課保育支援係長：榊原 恭子 子ども家庭部保育課保育支援係主査：野中 瞳 子ども家庭部保育課保育支援係：平松 由佳 子ども家庭部保育課保育支援係：小川 桃子
会議資料		・【資料1】 第一次評価表 ・【資料2】 評価基準（係数に係る別紙含む）
会議次第		1 第一次審査（書類審査） 2 第一次審査（書類審査）の結果報告
会議の結果及び主要な発言		応募があった3事業者について各委員による第一次審査（書類審査）を実施し、事務局において集計を行い、選定委員の合意のうえ、3事業者を第一次審査通過者として決定した。

会 議 名		杉並区病児保育予約システム導入及び運用保守業務受託者候補者選定会議（第3回）
日 時		令和7年8月26日(火)17時20分から20時20分まで
場 所		第9会議室（杉並区役所西棟8階）
出席者	委 員 名	杉並区子ども家庭部長：松沢 智 杉並区政策経営部デジタル戦略担当課長：眞鍋 稔晴 杉並区杉並保健所健康推進課長：山田 恵理子 杉並区子ども家庭部管理課長：倉島 恭一 杉並区子ども家庭部地域子育て支援課長：門倉 友恵
	事務局職員	子ども家庭部保育施設担当課長：森田 龍一 子ども家庭部保育課保育支援係長：榊原 恭子 子ども家庭部保育課保育支援係主査：野中 瞳 子ども家庭部保育課保育支援係：平松 由佳 子ども家庭部保育課保育支援係：小川 桃子
配布資料		・次第 ・【資料1】第一次審査 審査結果 ・【資料2】第二次審査タイムスケジュール ・【資料3】第二次評価表（集計用） ・【資料4】第二次評価表（コメント記入用） ・【資料5】評価基準（係数に係る別紙含む） ・【参考資料1】事業者に対する共通質問 ・【参考資料2】留意事項（事業者宛て）
会議次第		1 第一次審査の結果報告 2 第二次審査の進行確認 3 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査、採点） 4 集計・受託者候補者決定、講評

会議の結果及び主要な発言	1 第一次審査の結果報告 資料1により第一次審査の審査結果を改めて報告した。 2 第二次審査の進行確認 資料2により第二次審査のタイムスケジュールについて説明を行った。 各委員の採点結果をもとに、受託者候補者を選定する旨、説明を行った。 3 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査、採点） 第二次審査の対象となる3事業者について、プレゼンテーション・ヒアリング審査を行った。 （1）A社への主な質疑と回答（「・」は委員の質疑、「→」は事業者の回答） ・システムを利用する方のICTスキルは様々なことが想定される。システムに不慣れな方にとっても使いやすいシステムとなるよう、保護者、病児保育室職員に対してそれぞれどのような点を工夫しているか。 →利用者に対してはどこからこの情報を知るかといった導線を非常に大事にしている。一緒にリーフレットやポスターなどを作って周知をしていく。そもそもネット予約に変わったことを知らない方は通常通り施設に電話をされると思うので、その際に事業者がどう対応すればいいのかをマニュアル化している。職員に対しては、わかりやすい製品づくりを大事にしている。 1か月の導入支援で、保護者側と事業者側の体験版のアカウントを提供するので、職員の方は何回でも練習できる。職員の方からは不安だったけど簡単に操作できた、というお声をいただくことが多い。 ・これまでに多くの導入実績があるが、どれくらい業務負担が減ったのか定量的に把握しているか。 →全事業者に聞いたことはないが、以前に行ったインタビューでは、朝に30分から1時間は絶対にかかっていた業務が15分くらいで収まるようになったと言われた。また、自治体への提出資料の作成に毎月半日以上かかっていた方は0になったと聞いている。 ・今後、もし、病児保育室の施設数が増えた場合、どのような対応となるのか。 →通常の対応だと1か月お時間をいただき、導入支援、Webサイトの編集、周知のお手伝いを行う。希望があった場合には、開設の3か月から6か月前から新規開設のコンサルティングも行っている。 ・システムのカスタマイズや個別の対応にはどれくらい対応してもらえるのか。 →医師連絡票があるのかないのか、医師連絡票の中に病児・病後児という区分があるのかないのか、自動予約確定や入室前問診、保育記録を使うのか使わないのか、受診状況をどのように設定するのか等、事業者ごとに細かく決められるようになっている。 ・両親に加えて祖父母のアカウントを増やすことはできるのか。 →今後は3人目、4人目と登録できるようにしようとは思っているが、1予約で4件から6件ぐらいメッセージを送ることになる。メッセージを1件送るごとに費用がかかるので、3人目、4人目の登録ができるようになった場合には、料金をいただくこともあるかもしれないというところで、今は2人までにしている。 ・導入している自治体や施設から機能改善などの要望があった場合は、バージョンアップ等に対してどのような対応を行うことが想定されるか。 →チャットツールを自治体や施設に提供しており、そこで新規機能のリリースの説明を行ったり、ニーズの拾い上げや相談を受け付けたりしている。拾い上げたニーズは、開発ボードで計画的に管理し、対応している。大きな困りごとは解決できていると思っているが、細かい内容についてはやるべきことがまだまだ残っているので、対応していく。 ・システム障害が発生した際、復旧までの所要時間はどの程度か。
--------------	---

- 事象による。新規のリリースをした場合はロールバックすればよく、スムーズに復旧できると思う。新規リリースをするタイミングも予約があまり入らない時間帯に行うようにしている。サーバーがダウンすると当社としてはどうにもならないところがある。これ自体が起こったことはないが、あり得る。アクセスが余りに多くなってしまった場合にシステムが止まってしまったことがあったが、改善できており、再発しない状態になっている。
- ・杉並区では導入準備を令和8年1月末までに行い、令和8年2月から利用者のアカウント登録を開始し、令和8年3月からシステムを用いて利用予約を受け付けたいと考えている。このようなスケジュールでも導入にあたり差し支えないか。
- 通常、自治体への導入は2か月間必要になる。今回は全く問題ない。20自治体ほど導入した経験があるので、ノウハウがたまっている。
- ・事業者側の導入準備が4回ほどとなっているが、これを1か月程度で進められるというのは実績に基づいた設定なのか。
- その通りである。今は2回ぐらいで導入準備ができるように対応している。動画を見て、毎日10分くらいずつ操作してもらえれば、ステップアップできるという形の方が、施設側にとっても負担が減り、よいのではと思っている。当社は4回という回数にこだわっておらず、事業者が不安だったら5回、6回、導入支援をすることもある。施設にとってのよりよい形を先方との対話の中で決めている。

(2) B社への主な質疑と回答(「・」は委員の質疑、「→」は事業者の回答)

- ・システムを利用する方のICTスキルは様々なことが想定される。システムに不慣れな方にとっても使いやすいシステムとなるよう、保護者、病児保育室職員に対してそれぞれどのような点を工夫しているか。
- 私どものシステムは簡単に操作できるシステムになっている。特に子育て世代の方はインターネットで買い物や旅行の予約をする方も多いと思う。そういった方であれば特に悩むことなく使っていただけたと考えている。見て簡単に分かるということを念頭に置いて開発しているので、一度説明をさせていただければ、職員の方についても簡単に使っていただけたと思う。
- ・既に導入実績があるが、具体的にどれくらい業務負担が減ったのかを定量的に把握しているか。
- 定量的に把握しているものはない。利用いただいているところには、電話が非常になくなりましたという声をいただくことが多い。病児保育室の新規開設と同時にシステムを導入いただいたところは、自動部屋割りの機能を使っており、基本的には一切電話を受け付けないという姿勢で運営している。定量的ではないが、間違いなく、電話の対応は減らすことができていると考えている。
- ・今後もし、病児保育室の施設数が増えた場合、どのような対応となるのか。
- もともと施設が増えることには対応している。単純に追加になった施設、新しくできる施設の情報を杉並区の環境の中に登録するだけで増やすことができる。
- ・予防接種やアレルギーの項目は初期設定から変更したいということがあるかもしれないが、登録の項目を増やすにはカスタマイズが必要なのか。
- 管理者権限でアレルギーを選択する項目を追加・修正・削除をすることができる。管理者権限というのは区で導入した場合は区に持っていただけるので、当社に依頼をいただかなくても区で修正することが可能である。予防接種も同様に種類と回数に関して管理者権限で修正可能である。
- ・病児保育室に祖父母がお迎えに来たり、連絡を取ったりすることもある。ご両親以外に祖父母がアカウントを登録するにはカスタマイズが必要になるのか。

- 同様の要望が多数あれば、標準機能として盛り込む可能性もある。多数出ない場合は、杉並区用にカスタマイズをすることになる。
- ・各自治体からの要望を受けて、バージョンアップをした実績はあるのか。
- アレルギー症状や予防接種の登録は、要望があって追加した機能である。予約画面での画像の添付機能や施設独自の質問項目を設定できる機能、利用実績のグラフを作る機能も追加した。希望の多いものはバージョンアップする機能の候補として上位にあがってくると思うが、社会のしくみが変わって必要になる機能についても対応していきたいと思っはいる。
- ・要望が多いものに関しては追加費用なしでバージョンアップするという認識でよいか。
- ご認識のとおり。基本的にはご提供している価格の中で機能が少し増えていくという形となる。
- ・杉並区では、導入準備を令和8年1月末までに行い、令和8年2月から利用者のアカウント登録を開始し、令和8年3月からシステムを用いて利用予約を受け付けたいと考えている。このようなスケジュールでも導入にあたり差し支えないか。
- 問題ない。環境は既にできており、一部カスタマイズしたとしても間に合うと考えている。
- ・事業者への導入支援はどのくらいかかるのか。
- システムの初期登録のために施設の情報をいただくところがある。施設の方々に対しては操作指導をさせていただいて利用を開始する。
- ・先ほどのデモンストレーションはPCの画面で操作されていたが、スマートフォンについても同じような操作になるのか。
- ご認識のとおり。デモなのでPCの画面で操作したが、スマートフォンだとこのような表記になる（スクリーンにスマートフォン用の画面を表示）。操作としては全く変わらない。
- ・複数のメールアドレスを登録できるようになっていたが、夫婦両方で見たい場合には夫婦どちらか一方が登録した情報を夫婦両方が見られるという設定になっているのか。一人の子どもに対して夫が登録して、妻が内容を変更するというシチュエーションも考えられると思うが、どうか。
- メールアドレスは複数登録できる。システムからの通知が登録されているアドレス宛に送られる。登録内容の修正は、登録したアカウントで入っていただければ夫婦どちらでもそのアカウントに紐づくお子さんの情報を修正することができる。
- ・同じアカウントに同じタイミングでログインすることも可能か。
- 問題ない。
- ・導入後に杉並区から要望が上がった場合にどのような流れで対応するのか伺いたい。
- どこかのタイミングでアンケートを取ろうと思っている。また、個別で相談があれば、お話を聞くという形で、要望をいただくことになる。改修にかけられる原価もあるので、そのなかで何ができるか、どれが重要であるかを当社で判断する。おそらく前年度までに集まってきた要望を年度当初に選定して、年度前半で改修を終えるような形をとっていくことになると思う。
- （3） C社への主な質疑と回答（「・」は委員の質疑、「→」は事業者の回答）
- ・システムを利用する方のICTスキルは様々なことが想定される。システムに不慣れな方にとっても使いやすいシステムとなるよう、保護者、病児保育室職員に対してそれぞれどのような点を工夫しているか。
- 当社のシステムの特徴である、画面の上から順番に進めていただくことで、活用ができるようにというところが利用者に対しての工夫であると考えている。施設の画面については、いくつかページはあるが、一つのページに情報を集約しているのでどこかのページを一つ見れば管理が簡潔にできるようになっている。

- ・設定することが多くなると、アナログでやった方がいいのではと不安に思う職員もいると思うが、システムを導入することでどれくらい業務削減が見込めるのかを定量的に把握しているか。
- 数値的なところで明確に回答できるものはないが、施設、利用者含めて、電話予約の負担が大きく減ったという話をよく伺っている。
- ・今後、病児保育室の施設数が増えた場合、どのような対応となるか。
- 区役所の専用ページを用意していて、そこから施設の登録を増やしていただくことで、施設が増えた場合でもすぐに活用できる環境を構築している。
- ・病児保育室は施設によって利用方法が異なり、施設の運用に応じた設定が必要になるが、施設の管理画面から施設ごとに登録に必要な項目などを変更することができるという認識でよいのか。
- ご認識のとおり。細かく設定できるようになっている。
- ・医師連絡票についても対応できるということでしょうか。
- ご認識のとおり。医師連絡票についてもいる、いらないの設定できるようになっているため、いらない場合はなしとすれば予約時に添付なしで申込ができるようになっている。
- ・初期設定は施設側で行うということでしょうか。
- 施設の方で設定することもできる。これまでは施設がヒアリングシートに回答し、その内容をもとに当社で事前に設定したものを納品している。設定から覚えたいということであれば、設定した状態で納品してからこのように動く、と説明できればと思っている。どちらでも相談しながら進めていければと思っている。
- ・貴社は病児保育のシステムを導入してから日が浅い。システムは動かしながら改修していくものだと思うが、すでに導入している自治体で改善した点はあるか。
- 直近で改善したものは、UI の部分。横にスクロールをするときに横のバーが太い方がありがたいなどの声をいただき、軽微な修正をした。もともとは先着順で予約を受け付ける機能しかなかったが、いつも予約をとれない方がいたので、承認まちの機能を増やし、施設の方で判断し予約を受け付ける機能を増やした。
- ・導入している複数の自治体や施設から機能改善などの要望があった場合は、より多く要望があるものを選択して改善していくという考え方でよいのか。
- ご認識のとおり。すべてに対応することは難しいため、より汎用性が高いもの、困っているもの、課題となっている部分をしっかり把握したうえで対応している。
- ・困っていること等はどのように聞き取りをしているのか。
- 一つの施設、一つの自治体だけの意見ではそれにフォーカスしがちでそこだけに特化してしまう懸念点があるので、一つの課題があった場合に、複数の施設・自治体に同じように困っていることがないかヒアリングを行い、判断材料の一つとして参考にしている。
- ・サイバー攻撃やシステム障害が発生してシステムが停止したときにまず何を行うことが重要だと考えているか。
- 一番重要なことは即時の原因の追究と復旧だと考えているが、それぞれ役割分担をしている中で、システムを案内する側として一番やるべきことは報告をすることだと考えている。区役所、施設、並びに HP 上で利用者に告知をするという対応を迅速に1時間以内に行いたい。技術スタッフは原因究明・復旧という役割を担う。それぞれ分担をして対応させていただければと思っている。
- ・杉並区では、導入準備を令和8年1月末までに行い、令和8年2月から利用者のアカウント登録を開始し、令和8年3月からシステムを用いた利用予約ができるようにと考えている。このようなスケジュールでも導入にあたり差し支えはないか。
- スケジュールどおりに対応できると技術スタッフとも共有している。

- ・事業者への研修を企画しているとのことだったが、どのように事業者にシステムの説明をしていくのか具体的に教えてほしい。
- 研修の内容とスケジュールが書かれた研修計画書を渡し、今日はどこまで研修するのかを可視化している。まずはシステムの概要部分から説明し、おおまかな流れ、それぞれ実際に運用していく中で施設がよく使うページ、よく質問いただく部分を第1ステップとして研修を行う。そこで補えなかった部分については第2、第3ステップという形で研修を設けている。
- ・スマートフォンを持っていない方やデジタルに慣れていない方に対してはどのような対応が考えられるか。
- スマートフォンを活用していない方がいた場合は、電話で予約をすることになるため、施設側で予約の登録ができる機能を設けている。当社のフォローとしては利用者がスムーズに活用できるように詳しいマニュアルをしっかりと整備し、システム画面から閲覧できるようにしている。

4 集計・受託者候補者決定、講評

○集計・受託者候補者の決定

各委員の採点后、事務局において集計を行い、結果を確認した。選定委員の合意のうえ、第一次審査、第二次審査の点数の合計が全審査配点合計点の60%以上に達し、かつ最上位の事業者であるA社を本業務の受託者候補者として決定した。

○委員講評の要点

(A社の講評)

- ・現場に携わっている、現場を知っている方がシステムの構築に携わっている強みがあって実態に即したシステム導入が期待できると感じた。
- ・病児保育事業の課題を非常に理解していて、それをシステムに反映している。システムを常に改善しているという部分も評価できる。
- ・後方支援や運営体制について説明があったが、もっと具体的な話が聞けるとよかった。

(B社の講評)

- ・保護者の負担軽減の視点について説明が少なかった点を課題に感じた。
- ・毎年開発・機能強化していく、自治体の要望に応じて改修していくという姿勢がよかったが、対応の迅速さに課題を感じた。

(C社の講評)

- ・利用者は直観的に操作がしやすいと感じたが、病児保育室の職員が入力する項目がやや多く感じ、職員の操作のしやすさに課題を感じた。
- ・画面内の情報・導線が煩雑で、目が散らばってしまった。これから実績をつまめ、良いシステムになっていくと思うが、現時点で杉並区に導入するということまでは至らなかった。

○その他

事務局から、選定結果の通知と結果の公表について、スケジュールの説明を行った。